

プログラム名	おもいやりの心を育む「おも活」		
団体名	公益財団法人日本ケアフィット共育機構		区分 講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 ・小学4～6年生が中心 ・東京23区、大阪（他地域要相談） ・オンラインも可	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 特別授業・放課後教室・地域のイベントで実施。教員向けの研修も可能です。

プログラムのねらい

障害を含めて相手の立場をおもいやる行動をするためのワークを交えた授業です。
 “おもいやりの行動”には2つの要素があります。
 ・困りごとに気づいて動く
 ・違いを認め合い、相手の立場になって考える
 困りごとや相手の立場とはどういったことなのかを、障害当事者も交えてお伝えします。
 児童の皆様身近な学校のことや障害者の例を題材に想像・発表していただくことで、多様性の理解や自分に何ができるのか考え、行動できる力を養います。
 学習指導要領で求められる心のバリアフリーの実践に繋がります。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

■カリキュラム

- おもいやりって何だろう？
 ・どのような行動が思いやりなのか、考えます
- 困りごとって何だろう？
 ・ちがいを考えられていないことによって、社会や環境が困りごとを生み出していることを学びます
- ちがいや困りごとを考えてみよう
 ・障害当事者と一緒に考え発表をするワークをします。
 自分が普段している行動から、身近にあるちがいや困りごとを考えます。
- 質疑応答
 ・障害当事者に聞いてみたいことを質問していただけます。
- まとめ
 ・おもいやりの大事なポイントをまとめます。

おもいやりって何だろう？



おもいやりとは…

①困りごとに対してお手伝いする
 ・何にこまっているのかな？
 ・自分に何ができるかな？

②色々な「ちがいを考えること
 相手の気持ちになってみる

例えば視覚に障害がある人が、信号の色がわからず困っていた時…
 自分には何ができそうか、信号機にどんな工夫があれば1人でも安心して渡れるか、考え発表していただけます。



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	令和4年度実績（都内） 13校（回） 令和5年度実績（都内） 8校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

公益財団法人日本ケアフィット共育機構は、「誰もが誰かのために共に生きる社会」を目指し、「あらゆる場面でケアをフィットする」ことを使命としております。そのひとつとして、「おもてなしの心」と「正しい介助技術」を持ちあわせた「サービス介助士」を育成し、現在、22万人以上のサービス介助士が街中で活躍するようになりました。そして、「心のバリアフリー教育」「障害の社会モデル」の理解を多くの人に浸透させる一環として、「おも活」の授業を行い、子供たちに伝えております。今後も、「誰もが誰かのために共に生きる社会」「本当の意味での共生社会」を実現するために、「共育活動」と「実践活動」を通して考えつづけ、行動してまいります。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	有料 講師料（1コマ1万円）＋講師交通費
その他 会場・定員・必要備品などについて	・会場：視聴覚室等のPCを投影できる教室（複数クラスを続けて実施する際は、同教室を連続で使用させていただきます） ・時間：1回45分 ・定員：1クラスもしくは40名程度 ・ご準備いただくもの：プロジェクター、スクリーン、PC、HDMIケーブル（弊機構からはUSBメモリのみ持参いたします） ・費用：応相談 ・派遣者：サービス介助士1名、当事者講師1名		
連絡先	部署名・担当者	おも活担当：三船、岩橋、荒井、水上、高井、合谷	
	プログラム紹介 WEB	https://www.carefit.org/personal/omokatsu.php	
	電話	0120-0610-64	
	e-mail	sot-sat@carefit.org	